

語りと和楽の芸人衆

# かたりと



言霊・・・ことだま  
言葉には魂がある。  
ものがたりは、語らねば始まらぬ。

音にオンの意味がある。  
「言う」にもオンの呪術。  
イウはイワウ。  
祝う。

江戸の昔、祝いの言葉を唱えて家々を歩いた、祝<sup>ほか</sup>い人。

私どもは、今の時代の祝い人にならしましょう。

# 『かたりと』の活動

時代物、現代小説、民話や絵本、児童文学など、

多彩な題材を「語り」と「和楽」でお届けします。

「和楽」はいわゆる邦楽のことですが、

『かたりと』は、その中でも、弦楽器（箏・津軽三味線）が主の音色。

語り katari + 糸 ito = 『かたりと katarito』です。

『かたりと』の表現は、原作第一。華美な演出は加えません。

「語り」は、お客様との相互作用で成り立つ、想像のドラマ。語り手は身体ひとつで舞台に立ち、和楽と響き合うことで、更に立体感が加わります。

もちろん、津軽三味線・箏、それぞれの演奏もお楽しみください。

幅広い年齢層の方々にご覧頂くことができ、

梓にはまらないシチュエーションで公演活動を行っています。

## 【上演作品】

森鷗外『高瀬舟』、芥川龍之介『奉教人の死』、

中島敦『山月記』、太宰治『葉桜と魔笛』、

平岩弓枝『ちっちなかみさん』、池波正太郎『白波看板』、

岡本綺堂『半七捕物帳より～槍突き～』『笛塚』、

川口松太郎『七つの顔の銀次』『紅梅振袖』、

齊藤隆介『花さき山』『モチモチの木』、

など



### 語り 北原久仁香 (きたはらくにか)

ナレーターとして活動するとともに、  
和LIVEを企画・出演。  
文化財など、由緒ある会場での公演を続ける。



### 津軽三味線 小池純一郎 (こいけじゅんいちろう)

日本映画学校卒業後、芝居の世界へ。  
演劇を通し津軽三味線と出会い、その魅力に惹かれる。  
小山流の門を叩いた後、  
流派にとられないスタイルで、現在に至る。



### 箏 山田雅生 (やまだまさお)

広島市出身。生田流箏曲 師範。  
幼少期は触れる程度だったが、  
十代後半、表現手段の面白さに気付く。  
語り・人形劇・芝居などとも共演多数。

## 東京都名勝指定文化財

## 旧安田楠雄邸庭園



2007年から<語りと和楽>企画を実施。  
池波正太郎没後20年に寄せて『白浪看板』  
（「鬼平犯科帳」の原型とも言うべき短編）、  
七夕に因み『織姫』鳥越碧作、  
鬼才中島敦の名作『山月記』など上演。

登録有形文化財 いっきあふ 一櫛庵



2010年より、  
「かたりと一櫛庵公演」実施。  
森鷗外生誕150年歿後90年に寄せて  
『高瀬舟』、  
池澤夏樹『鮎』、  
平岩弓枝『ちっちなかみさん』、  
菊池寛『奉行と人相学』など上演。



**登録有形文化財 昭和の家**  
昭和十四年築の洋館付き和風住宅。足立区初の登録有形文化財となった記念イベントに出演。

## あなたのもとへ 「かたりと」を

目的、上演時間、ご予算等によりご相談を承ります

\*時代物・文学小説、民話、昔話、童話などの上演

\*学校、学童施設、子ども劇場、幼稚園、保育園などの観劇プログラム

\*催し・会場、御当地・季節に合うプログラム

\*結婚披露宴、記念祝賀会などの余興

\*カフェ・ギャラリー・個展会場などでのぶち和ライブ

その他、ご要望もお聞かせ下さい。



【かたりと 連絡先】ご相談、お問合せはお気軽にどうぞ。

かたりとHP <http://katarito.web.fc2.com/>

mail : [katarito\\_wagaku@yahoo.co.jp](mailto:katarito_wagaku@yahoo.co.jp)

TEL : 090 (4433) 5434 (代表)